

令和7年3月第1回定例会
代表質問・一般質問 順位

代表質問

順位	会派名	氏名
1	香芝市議会自由民主党	下村 佳史
2	日本共産党	青木 恒子

一般質問

順位	氏名
1	中井 政友
2	小西 高吉
3	眞鍋 亜樹
4	中山 武彦
5	上田井 良二
6	清川 希代子
7	木下 充啓
8	野口 昌史

代表質問通告書

次の件について、会議規則第63条の規定により代表質問の通告を致します。

令和 7年 2月13日

質 問 者

会 派 香芝市議会自由民主党

議 員 下村佳史

香芝市議会議長

中 村 良 路 様

項 目	件 名	答弁者 (部局名)
大項目	1. 災害対策の取組について (1) 避難所の運営環境について	市 長 副 市 長 教 育 長
中項目	2. 学校教育の充実について (1) 通学路の安全対策について (2) 教育環境の整備について	市 長 公 室 危機管理監 総 務 部 市民環境部 健康福祉部
※箇条書で記入 ください。	3. 市民が安心して暮らせる取組について (1) 各種困りごと相談について	子ども家庭部 都市創造部 教 育 部
1. 災害対策の取組について (1) 避難所の運営環境について ①避難所への誘導について ②避難所の環境について ③要支援者等への対応について ④感染症対策について 2. 学校教育の充実について (1) 通学路の安全対策について ①進捗状況について ②夏季の安全対策（スクールバス導入等）について (2) 教育環境の整備について ①学校の長寿命化計画について ②令和7年度の取組について 3. 市民が安心して暮らせる取組について (1) 各種困りごと相談について ①動物、蜂等の駆除について ②相談窓口について		

代 表 質 問 通 告 書

次の件について、会議規則第63条の規定により代表質問の通告を致します。

令和 7 年 2 月 13 日

質 問 者

会 派 日本共産党

議 員 青木 恒子

香芝市議会議長

中村 良路 様

項 目	件 名	答弁者 (部局名)
大項目 中項目 ※箇条書で記入ください。	① 二上山産業廃棄物処理場の開発について 香芝市環境基本計画にそって 森林・農地の保全 生物多様性の保全 景観について ・ 昨年8月採石法・採取計画変更について ・ 香芝市より県への意見 ・ 景観条例制定に向けてのスケジュール ・ 地域住民への説明会 環境について ・ 産業廃棄物中間処理場とは ・ 中間処理土の仮置き問題 ・ 排水近くの竹田川上流での水質検査 ・ 過去の水田への水汚染について ・ 竹田川上流水生動物がいらないがその原因は ・ 独自水質検査 瀬戸内法との関連で ・ 市民の不安払しょくのため現地見学会 ② 関西万博（会場は産業廃棄物処理場） 児童生徒招待事業について ・ 児童生徒の安全確保・健康維持について 熱中症対策・待機場所・救護室・メタンガス 食べるところ・下見は ・ 香芝市では参加予定校はあるのかどうか ③ 学童保育の長期休業中の子どもたちの外遊び保障 ・ こどもの発達と外遊びについての考え ・ 他市の様子はどうか ④ 市会議員の小学校無断侵入に関する件について ・ 経過説明 ・ 教育長が取り下げた経過説明など	市長 都市創造 部 市民環境 部 市長 教育長 教育部

(要 旨) ※ できるだけ具体的に記入願います。

① 二上山産業廃棄物処理場の開発について

景観

- ・ 2004年8月採石法による採取計画変更について
- ・ 県への意見書を出されていますが内容について
- ・ 景観条例の制定に向けての計画やそのめどはどのように考えているか

環境

- ・ 香芝市の環境基本計画の理念の認識は
- ・ 産業廃棄物中間処理場とはどのようなことをするのか。最終処理場との違いはどこにあるのか
- ・ 農地の保全の観点から質問。

2018年に水田に竹田川より、赤い水が流れこみ稲が育たなかった件の説明

- ・ 生物多様性の保全の観点から質問
竹田川上流に水生動物がいなくなったことの見解
- ・ 専門家に水質検査を依頼するとCOD 140mg/l (10mg/lで水生動物生息)
瀬戸内法との関連でこの数値の見解はどうか
- ・ 市民の不安払しょくのため、現地見学会・説明会をしてはどうか。

② 産廃処理場にて開催の関西万博 児童生徒招待事業について

教育委員会で不参加を決めていっている自治体も増えている実態があるが。

- ・ 教育委員会としての見解はどうなっているか
- ・ 現在、実施を考えている学校はどこか
- ・ 実施を考えている学校は、いつまでに検討される予定か。
- ・ 下見の実施はどうなっているか
- ・ 交通手段の考えは
- ・ 安全確保と健康維持について メタンガス 熱中症対策
- ・ 弁当を食べる場所確保はできるのか
- ・ 災害時の避難経路確認は

③ 学童保育の長期休業中の外遊びについて

- ・ 学童期の外遊びと発達についての見解 保育理念として
- ・ 香芝市学童保育の長期休業中の外遊びの実態
- ・ 近隣市のシダックスの実態把握はされているか
- ・ この夏長期休業中の外遊びが実施できなかった原因は

④ 市会議員の小学校無断侵入事案について

- ・ 議会だよりには個人名も掲載されており、人権にもかかわるため経過説明を
- ・ 教育長が文書取り下げた理由について
- ・ 当時の議長に文書提出の前に、教育長から本人に注意喚起をされたのかどうか
- ・ 教育長・当時の議長・本人の話し合いで解決できた問題ではないか。

一 般 質 問 通 告 書

次の件について、会議規則第63条の規定により一般質問の通告を致します。

令和7年2月13日

質 問 者
議 員 中 井 政 友

香芝市議会議長
中村 良路 様

項 目	件 名	答弁者 (部局名)
大項目 中項目 ※箇条書で記入 ください。	1, 鉄道利用に係る環境改善、利便性向上について ① 近鉄大阪線駅の外付けトイレ設置要望について ② 喫煙について ③ 近鉄五位堂駅南側の渋滞について 2, 真美ヶ丘西小学校の環境整備について ①学童保育所の状況について ②登下校時の通学路の安全について 3, どんづる峯を境にした南北の課題について ① どんづる峯地下壕戦争遺跡の保存について ② 産業廃棄物中間処理場について	市長 副市長 教育長 教育部 都市創造部 市民環境部 その他関係 部局
1, 鉄道利用に係る環境改善、利便性向上について 12月議会五位堂駅西踏切の渋滞、南駐車場のロータリー計画が議論になった。また近鉄大阪線五位堂駅南側駅前広場整備事業構想が議会に債務負担行為として提案されている。このような中で市民の鉄道利用に係る環境改善、利便性向上について質問したい。 近鉄の令和5年11月付けネット公開資料によると1日の乗降者数は、五位堂駅は、23742人。県内有数の駅となっている。本市以外の利用者もあるが半分は香芝市民と思える。また市の公共施設更新計画の4頁にも統計が記載されており、市内鉄道駅乗車人数の状況は、JR線は、ほぼ横ばい近鉄線は増加傾向にあります。 市内主要駅外にトイレ設置の要望が強くあります。しかし近鉄線の駅の外にはトイレがなく駅員に頼んで改札を抜けて利用されたりしている。駅員についても最近の無人化によっておられないこともある。他市においてもすべてでないが外付けトイレ設置されている自治体もある。検討すべきでないか。 また、喫煙所の設置が計画されているがどのような計画か。たばこの喫煙とポイ捨て防止との問題を整理し通勤・通学者等の駅利用者が気持ちよく利用できる環境を作る必要があると考える。 更に補正予算化され提案されている近鉄五位堂南側駅前広場整備構想。その必要性は、どの程度あるのか。多額の費用が見込まれるが、急ぐ必要があるのか。市民の希望は、どのように実現されるのかを改めて、お聞きしたい。 ①近鉄線の駅の外付けトイレについて ②喫煙、たばこのポイ捨てについて ③近鉄五位堂南側駅前広場整備構想について		

2, 真美ヶ丘西小学校の環境整備について

① 学童保育所の状況について

すみれ野ができて子どもが増えている。今後さらにマンション、集合住宅化がまだ進む傾向にある。そのような環境下で学童保育所の状況、特に夏休み等の長期休業中の学童保育所環境改善を求める声がある。育ち盛り子どもたちにとって室内で多くの学友と長時間過ごすことは、苦痛・ストレスとなっており通所に抵抗を感じ高学年になって退所する負のスパイラルになっているとの保護者からの相談がある。現状についてお聞きし、指定管理化の問題か指定管理者の問題か指導員の問題かなど現状の原因を把握し、指定管理者と協議し改善を図っていただきたい。

② 通学路の安全について

すみれ野から児童の登校は 30 分かかかるその間、国道・中和幹線の交差点を渡り安全が心配される。さらに今後スーパー万代の開店や旭ヶ丘病院の移転が予定されている。登・下校時の安全体制を検討していただきたい。

3, どんづる峯を境にした南北の課題について

香芝市に残る戦争遺跡「どんづる峯地下壕」は、先の太平洋戦争時の戦争遺跡として貴重な遺跡です。戦後 80 年になる現在もほぼ当時の状態が残っています。その文化財としての価値についての本市の考えをお聞きしたい。

① 地下壕戦争遺跡の保存について（資料 1, 2, 3, 4）

二上山は、市の多くの団体や施設に名を記すように街の象徴であり歴史の一部です。しかしながら国定公園中にありながら現在の状況は、景観的にも心痛める状況である事が明らかです。また産業廃棄物中間処理場として県の許認可が下りている事業であるとはいえ最終処理場化している疑いがあり環境的にも不安がある。それらの市民の心配を解消するために市として、何らかの対応をすべきでないのか。お聞きしたい。

② 産業廃棄物中間処理場について

- ・基準値を超える排水をした場合、報告義務があるのでは。
- ・瀬戸内海環境保全特別措置法を守る必要があるのでは。
- ・市民に市ができることは、ないのか。
- ・産業廃棄物中間処理場であるのか。

一 般 質 問 通 告 書

次の件について、会議規則第63条の規定により一般質問の通告を致します。

令和 7年 2月 13日

質 問 者

議 員 小 西 高 吉

香芝市議会議長

中 村 良 路 様

項 目	件 名	答弁者 (部局名)
大項目 中項目 ※箇条書で記入 ください。	1. 安心・安全に産み育てられるまちづくりについて (1) 保育園・幼稚園・小学校・中学校のトイレの洋式 化の現状 (2) 保育園・幼稚園・小学校・中学校のトイレの洋式 化の今後 (3) 市内の学童保育所の現状 (4) 市内の学童保育所の今後 (5) 市内の小児科・産科の現状 (6) 移転される旭ヶ丘病院に小児科・産科を新設要望	市長 副市長 教育長 関係部局
(要 旨) ※できるだけ具体的に記入願います。 1. 安心・安全に産み育てられるまちづくりについて (1) 保育園・幼稚園・小学校・中学校のトイレの洋式化の現状 ① 現在のトイレの洋式化率について (2) 保育園・幼稚園・小学校・中学校のトイレの洋式化の今後 ①今後のトイレの洋式化の計画について (3) 市内の学童保育所の現状 ① 学童保育所に入所している児童の現状について ② 入所児童の推移について ③ 香芝市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 の考えについて (4) 市内の学童保育所の今後 ① 今後の入所児童の推移について ② 今後の学童保育所について (5) 市内の小児科・産科の現状 ① 香芝生喜病院の小児科の診察体制について ② 香芝生喜病院の小児二次輪番の担当頻度や受入れ状況について ③ 現在の産科受診状況について (6) 移転される旭ヶ丘病院に小児科・産科を新設要望 ① 名称や開院時期について		

- ② 産科や小児科の設置について
- ③ 中和医療圏での病床数の変更について
- ④ 今後の産科・小児科の医療体制の考えについて

一般質問通告書

次の件について、会議規則第63条の規定により一般質問の通告を致します。

令和 7年 2月 13日

質問者

議員 眞鍋 亜樹

香芝市議会議長

中村 良路 様

項目	件名	答弁者 (部局名)
大項目 中項目 ※箇条書で記入 ください。	1. 認知症の人にやさしいまちづくり (1) 在宅介護における本市の現状について (2) 現行の支援体制と課題について (3) 市民理解と共生の促進について (4) 行政としての責任と今後の対策について 2. 情報社会で生きる力への取組について (1) 乳幼児期における情報リテラシー教育の土台づくりについて (2) 小中学校における情報リテラシー教育について (3) 職員における情報リテラシー教育について (4) 本市の情報セキュリティ対策の方針と展開について 3. 香芝市立保育所の利用調整における過誤の問題について (1) 過誤の原因と背景について (2) 影響を受けた家庭への対応について (3) 再発防止策の確立について (4) 本市の責任と今後の対応について 4. 五位堂周辺地区のまちづくりについて (1) 近鉄大阪線五位堂駅南側駅前広場整備基本構想について (周知や説明、交通渋滞への対応、今後の方向性) (2) 公立幼稚園及び公立保育所の再編等に関する基本方針における香芝東中学校校区（五位堂幼稚園、五位堂保育所）での私立こども園化について (3) 今後の五位堂周辺地区のまちづくりについて	市長 副市長 教育長 市長公室 総務部 市民環境部 健康福祉部 こども家庭部 都市創造部 教育部

(要 旨)

1. 認知症の人にやさしいまちづくり

国の「認知症基本法」が 2024 年 1 月に施行され、認知症患者とその家族を支える社会の構築が全国的に求められる中、香芝市でも香芝市高齢者福祉計画及び第 9 期介護保険事業計画、第 4 章基本目標 4 「認知症施策の推進」について、「認知症の人にやさしいまちづくり」の具体化が急務となっている。しかし、現状では在宅で認知症患者を介護する家族が多く、昼夜問わず対応に追われることで心身ともに疲弊し、様々な患者の症状に直面する中で精神的な負担が増大している。さらに、ショートステイやデイサービスの受け入れ先での対応において、必要なタイミングで利用できないこともあり、また地域の方の理解不足によって近隣住民からの偏見にさらされ、ご家族が孤立するケースもある。加えて、全国的にも介護現場で深刻な人手不足が続いている状況であるが、認知症ケアの専門職の確保と育成についてもより重視し、強く進めていかなければならない。そこで、在宅介護者や介護現場の負担軽減、受け入れ先の確保、支援体制の整備、市民の認知症理解の促進、そして行政の責任と施策の充実を図ることが必要不可欠であり、国の基本法の理念に基づき、認知症の人が尊厳を持って地域で安心して暮らし続けられる仕組みを香芝市でも強化すべきと考え、以下の質問を行う。

- (1) 在宅介護における本市の現状について
- (2) 現行の支援体制と課題について
- (3) 市民理解と共生の促進について
- (4) 行政としての責任と今後の対策について

2. 情報社会で生きる力への取組について

現代の子どもたちは、インターネットや SNS、AI をはじめとするデジタル技術とともに成長する「デジタルネイティブ」世代であり、情報社会の中で生きるためのリテラシーが不可欠となっている。しかし、誤情報の拡散や個人情報の流出、ネット依存、オンライン上の犯罪といったリスクも増加しており、こうした課題に対応するためには、乳幼児期からの情報リテラシー教育の土台づくりからはじめることが重要である。特に、幼少期は保護者の関わりが大きいので、家庭における適切なデジタル環境の整備と親の意識向上が求められる。一方、日本の情報リテラシー教育は、ICT 機器の導入が進んでいるにもかかわらず、「情報の取捨選択」「メディアリテラシー」「フェイクニュース対策」などの教育が体系的に組み込まれていない点が課題となっている。特に、北欧諸国のように初等教育から批判的思考を養うカリキュラムが整備されておらず、情報を正しく分析・活用する力が十分に育まれていない現状がある。また、自治体職員においても、情報の適切な取り扱いが行政の信頼性を左右し、住民の暮らしの安全を守ることに直結するため、個人情報保護やサイバーセキュリティの観点から、リテラシー向上に向けた取り組みや整備が必要である。加速する社会情勢の変化に伴い、国においても総務省は「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を 2024 年 10 月に改訂した。住民の個人情報を適切に管理し、サイバー攻撃などの脅威に備えるための情報セキュリティ対策の強化についての現在の取り組みや今後の方針について、以下の質問を行う。

- (1) 乳幼児期における情報リテラシー教育の土台づくりについて
- (2) 小中学校における情報リテラシー教育について

- (3) 職員における情報リテラシー教育について
- (4) 本市の情報セキュリティ対策の方針と展開について

3. 香芝市立保育所の利用調整における過誤の問題について

本件は、令和5年11月の保育所利用調整において、本来入所できるはずの児童が誤って待機児童とされた問題である。影響を受けた児童は計15名のぼり、家庭にも大きな影響を与えたと考えられる。本問題を受け、市の説明責任を明確化し、影響を受けた家庭への対応、再発防止策の徹底など今後の具体的な対応について、以下の質問を行う。

- (1) 過誤の原因と背景について
- (2) 影響を受けた家庭への対応について
- (3) 再発防止策の確立について
- (4) 本市の責任と今後の対応について

4. 近鉄五位堂駅周辺のまちづくりについて

昨年9月に策定された「第一次香芝市都市計画再編基本方針」、および12月に策定された「近鉄大阪線五位堂駅南側駅前広場整備基本構想」は、五位堂駅周辺の活性化を目的とした重要な計画であり、市民の期待も高まっている。しかしながら、朝夕の交通渋滞や混雑の慢性化が課題となっており、今後の整備によるさらなる影響も懸念される。これを踏まえ、五位堂駅周辺における交通渋滞の緩和策や安全対策について具体的な方針を問うとともに、事業の進行に際し、市民の意見を適切に反映させる仕組みについての考えを伺う。また、駅南側広場の整備計画について、現時点での検討状況および今後の方向性を確認する。

さらに、公立幼稚園及び公立保育所の再編に関する基本方針において、香芝東中学校校区では、五位堂幼稚園、五位堂保育所を統合し、私立こども園化が示されている。五位堂駅の北側の公有財産の活用も候補地として検討されることとなり、令和5年度に「香芝市こども園整備・運営に係る市場調査」としてサウンディング型調査が実施された。しかし、その後の「第一次香芝市都市計画再編基本方針」の策定により、当初の計画の進捗にも影響がでる状況となっている。この点について、現状と今後の方針を明らかにするとともに、「近鉄大阪線五位堂駅南側駅前広場整備基本構想」との関連性を踏まえ、総括的な視点で調整を進める必要があると考え、五位堂地域全体のまちづくりとの整合性をどのように確保していくのかについて、以下の質問を行う。

- (1) 近鉄大阪線五位堂駅南側駅前広場整備基本構想について
(周知や説明、交通渋滞への対応、今後の方向性)
- (2) 公立幼稚園及び公立保育所の再編等に関する基本方針における五位堂校区の私立こども園化について
- (3) 今後の五位堂周辺地区のまちづくりについて

一 般 質 問 通 告 書

次の件について、会議規則第63条の規定により一般質問の通告を致します。

令和7年2月13日

質 問 者

議 員 中 山 武 彦

香芝市議会議長

中 村 良 路 様

項 目	件 名	答弁者 (部局名)
大項目	1 創造的福祉社会の構築について (1) 重層的支援体制の本格実施について	市長 副市長 教育長
中項目	2 誰もが安心して暮らせる香芝市政について (1) コミュニティバス・デマンド交通について (2) 住民にやさしい窓口体制について (3) 移動期日前投票所について	市長公室 危機管理監 市民環境部 健康福祉部 都市創造部
※箇条書で記入 ください。	3 安全で住み良い香芝市政について (1) 防犯について (2) 防災について	教育部 上下水道部 選挙管理委 員会事務局

(要 旨) ※できるだけ具体的に記入願います。

1 (1) 我が国の高齢者人口は、2040年頃にピークに達すると予測され、この時、香芝市の高齢化率は34%になると推計されている。このような中、コロナ禍で、献身的に支えられていた医療、介護、福祉、保育、教育に携わるエッセンシャルワーカーの方々が、将来的に少なくなることが懸念されている。今後は、少子高齢化、人口減少の課題に対処するとともに、住民どうしのつながりと互いに支え合える仕組みをつくり、全ての人の尊厳が守られ、各々生活する上で最適な環境を提供できるよう、潤いのある「創造的福祉社会」の構築を目指すことが重要と必要と考える。

昨年、香芝市では、「福祉総合相談窓口」を開設するなど、多様な福祉課題の対応に向けた取組みが進みつつある。来年度から本格的に実施される重層的支援体制について、市の取組みを質問する。

2 (1) 香芝市は若い世代が比較的多い人口構成であるが、今年をピークに人口減少傾向になると予測され、今後、若い世代の転出、高齢化率の上昇が見込まれる。市は、まちづくりの課題を抽出し、適正な都市づくりを進めようとするが、一方で、店舗や医療機関の少ない地域では、ひとり暮らしの高齢者の買い物、通院が難しくなり、日常生活に支障が出ていると聞いている。香芝市の新公共交通システムは、住民の声を聞きながら試行的な運行を重ねているが、高齢化の進展を見越して、市の重要インフラと位置づけ、より充実した内容(便数・台数増、ルートの見直しなど)へ整備を目指すべきと考える。香芝市の考えと今後の取組みを質問する。

(2) 香芝市の高齢化の進展で、将来にわたって疾病や要介護状態の方が増えることが予測される。現状でも、各種行政サービスを受給するのが困難な方がいらっしゃる、市では、高齢者や障がい者、また、困難を抱える住民などの誰もが等しく公共サービスを受けられるよう、窓口の体制を整えていく必要があると考える。

香芝市役所では、各種手続きの代行が全業務で可能となっていることが望ましいが、その対応について伺う。また、総合福祉センターなどの窓口では、声の聞こえにくい方がコミュニケーションを取りやすいよう、「軟骨伝導イヤホン」の備え付けなどが有効と考える。香芝市の取組みを伺う。さらに、今年1月の組織改定で、総合福祉センターの相談窓口では、プライバシーの確保がされにくい場所があるのではと心配の声を聞く。誰もが安心して相談できるような取組みを質問する。

(3) 選挙の際、所定の投票所に赴くのが難しい方がいると聞いている。市内では、居住場所によって、坂道や長い距離を歩くなどの理由から、投票が大変だと理由で、ご親戚やご家族などの移動支援を受けて投票される方もいらっしゃるとう聞いている。誰もが容易に投票できるよう、バスなどによる「移動期日前投票所」の取組みなど、先進事例を参考に、投票しやすい仕組みを検討してはどうか。香芝市の取組みを質問する。

3 (1) 市内の安全について、防犯・防災対策について質問する。高齢者を狙った特殊詐欺や強盗といった犯罪報道が増えている。政府は昨年12月、闇バイト犯罪の撲滅に向け、「緊急対策」をとりまとめた。国は、令和6年度補正予算の「新しい地方経済・生活環境創生交付金」で、防犯カメラの設置や青色回転灯の防犯パトロールの整備、個人向け防犯カメラの設置助成などを進める方向と聞いている。住民の間でも、防犯対策の強化を求める声が出ている。香芝市の犯罪被害の状況、パトロールの強化の推進、青色パトロールの普及などの防犯対策について質問する。

(2) 防災について、南海トラフ巨大地震の発生が懸念されており、市内の上下水道の老朽化対策やブロック塀・擁壁の安全性を確保する取組み状況はどうか質問する。また、学校体育館のエアコン設置の加速的な取組みが求められるため、市の方針を質問する。さらに、全国の都道府県と市区町村における簡易トイレなど災害物資備蓄状況調査結果を受け、香芝市の状況と今後の対応について質問する。

一般質問通告書

次の件について、会議規則第63条の規定により一般質問の通告を致します。

令和 7年 2月 7日

質 問 者

議 員 上田井 良二

香芝市議会議員

中 村 良 路 様

項 目	件 名	答弁者 (部局名)
大項目 中項目 ※箇条書で記入 ください。	1. 過去の質問内容について ①帯状疱疹の助成制度 ・国の定期接種の内容について ・市独自の助成制度について ②学校体育館の空調設備 ・現状での設置計画等について ・避難所としての対応状況について ③新入生への制服に対する助成 ・現在の実施予定等について ・制服以外の助成要望について	市長 副市長 教育長 健康福祉部 教育部 その他 関連部局
(要 旨) ※できるだけ具体的に記入願います。 1－①過去の質問時に市長から帯状疱疹ワクチン接種の助成について回答を頂いたが その後に国から定期接種実施の発表があったがその助成内容、特に実施開始時期 や対象者・助成内容について詳細を伺うとともに、今後市独自の助成等について 市の考え方や計画の有無について確認する ②市長より中学校体育館への空調設備導入推進の話をお聞きしたが現在の導入に ついての計画や予算執行等の状況について改めて聞くとともに工事実施の時期 や今後の避難所としての対応状況について確認する ③来年度小中学校の新入生に対する制服費用の助成制度についても以前、発表さ れたがその後の進捗状況、とくに現状私服登校の学校についての助成内容につ いて伺う。 またこの助成について該当する児童・生徒をもたれる保護者の皆様の反応や ご意見についての掌握状況や今後のついて市の考え方を伺う		

一 般 質 問 通 告 書

次の件について、会議規則第63条の規定により一般質問の通告を致します。

令和 7年 2月 13日

質 問 者

議 員 清 川 希 代 子

香芝市議会議長

中 村 良 路 様

項 目	件 名	答弁者 (部局名)
大項目 中項目 ※箇条書で記入ください。	1. 香芝市におけるごみの減量とリサイクル・リユースの促進について ① 香芝市のごみの排出量の現状と推移 ② リサイクル率について ③ 「ええもんクルっとコーナー」「ええもんクルっと市」について ④ 環境意識向上のための取り組みについて 2. 災害への備えについて ① スフィア基準の適用について ② 避難所の整備と運営 ③ ペット同行避難・ペット防災の強化 ④ 避難訓練の強化 ⑤ 防災士の育成と研修 ⑥ 災害備蓄品の確保 ⑦ 自助・共助の推進 3. 子どもたちの未来のための取り組みについて ① 「いーねっとツイート」の運用状況等 ② 小中学校の給食費無償化と給食の質向上について ③ 主権者教育の推進と「こども議会」等、子どもたちの政治参加について	市長 副市長 教育長 市民環境部 危機管理監 教育部 子ども家庭部 その他関係部局

(要 旨)

① 香芝市におけるごみの減量・リサイクル・リユースの促進について

本市のごみ減量・リサイクル・リユースの促進は、単に処理コストを削減するだけでなく、環境負荷を軽減し、持続可能な社会の実現に貢献する重要な施策です。

市民に好評を得ていた「ええもんクルっとコーナー＋ぷらす」は開催中止、令和6年度はふれあいフェスタにて「ええもんクルっと市」は実施し、市役所 1 階に「ええもんクルっとコーナー」が設置されているものの、市民からは利便性の向上やさらなる充実が求められています。

また、回収日が限られており、市民への周知も十分とは言えない状況です。

さらに、回収した新品やブランド品の食器等はオークションに出品されているが、その詳細については市民に十分な説明がなされていないように思います。

そこで、本市のごみ減量・リサイクル・リユースの現状を確認し、ごみ排出量およびリサイクル回収率の推移、「ええもんクルっと市」の再開の可能性、ええもんクルっとコーナーの充実(回収品目の拡充や回収頻度の見直し)、回収品のオークション活用状況および透明性の確保、市民の環境意識向上に向けた施策等について伺います。

2. 災害への備えについて

近年の災害対応では、避難所環境の整備や地域防災力の向上が求められています。

令和 6 年 11 月に内閣府が発信したスフィア基準の新指針により、避難所運営に関する基準が「参考にする」から「対応を求める」に変更されました。

本市においても、これらの基準を踏まえた防災対策の見直しが必要であると考え、以下の点について伺います。

① 避難所の整備と運営について

本市の避難所における現状と課題

スフィア基準に基づく避難所環境の改善方針(スペースの確保、プライバシー保護、バリアフリー対応、衛生環境整備 など)

② ペット同行避難・ペット防災について

本市におけるペット同行避難の現状と課題

ペット用避難スペースの確保やルール整備

ペット用備蓄品の充実と市民への啓発活動

③ 避難訓練の強化について

避難訓練の実施状況と課題

夜間・悪天候時を想定した訓練の実施計画

高齢者・障がい者・乳幼児連れの避難支援の強化

④ 防災士の育成と研修について

本市における防災士の現状と役割

防災士の育成・研修の強化と地域防災リーダーとの連携

⑤ 災害備蓄品の確保について

現在の備蓄品の状況と課題(食料・水・簡易トイレ・衛生用品 など)

スフィア基準に基づく備蓄計画の見直し

市民の家庭備蓄を促進するための取り組み

⑥ 自助・共助の推進について

防災意識向上のための市の情報発信・啓発活動

自主防災組織の活動支援と地域防災リーダーの育成

共助の促進に向けた自治会・地域団体との連携

本市の防災体制の現状と課題を明確にし、スフィア基準の適用を含めた今後の方針について伺います。

3. 子どもたちの未来のための取り組みについて

この4年間の小中学校の子どもたちに関する一般質問の総括と今後の展望について伺います。

- ① 教育行政に関する文部科学省が令和6年 10 月 31 日に公表した調査結果によると、令和5年度の小・中学校における不登校児童生徒数は過去最多の 34 万 6,482 人となり、前年度から約 4 万 7,434 人(15.9%)増加しました。

小学校:13 万 370 人(前年度比 2 万 5,258 人増)

中学校:21 万 6,112 人(前年度比 2 万 2,176 人増)

不登校の小中学生数は初めて 30 万人を超え、11 年連続で増加しています。

また、高等学校における不登校生徒数も 6 万 8,770 人(前年度比 8,195 人増)と過去最多を記録しました。

不登校の増加要因として、コロナ禍の影響による生活リズムの乱れや登校意欲の低下、保護者の意識変化などが考えられています。

この状況を受け、文部科学省は「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLO プラン)」を打ち出し、居場所づくりや相談環境の整備を進めています。

令和7年1月に警察庁の自殺統計に基づく厚生労働省のまとめで公表された自殺者数の

暫定値によれば、令和 6 年における全国の自殺者数は 20,268 人で、前年と比較して 1,569 人(約 7.2%)減少しました。

しかし、児童・生徒の自殺者数は 527 人(前年比14人増)と過去最多を更新し、特に中学生・高校生の女子の増加が顕著でした。

政府は、SNS を活用した相談体制の強化など、子どもの自殺対策を関係省庁と連携して進めています。

これまでの一般質問でも質問を重ねてきましたが、今回の自殺者数の増加を受け、改めて子どもたちの命を守るために、市として何ができるのかを再考すべきではないでしょうか。教職員による目視や直接の対話だけでは気付きにくい心の SOS を捉えるため、子ども自身が心の状態を入力できるアプリの導入を、令和 3 年から一貫して要望してきました。

そして、ようやく令和 6 年夏頃から「いーねっとツイート」の運用が開始されました。

については、このアプリの運用状況について確認します。

②給食費無償化と給食の質向上について

学校給食は、児童生徒の健康と成長を支える重要な教育の一環であり、栄養バランスの取れた食事を提供することで、学習意欲の向上や食育の推進にも寄与しています。しかし、近年の物価高騰により食材費が上昇し、給食の質を維持することが課題となっています。

前回の12月議会における答弁では、給食の質を維持・向上するためには1,000円程度の市の補助が必要であるとの見解が示されました。令和 7 年度に向けて、給食費の引き上げを保護者負担とするのか、市が補助するのか、明確にする必要があります。

給食費無償化と、給食の質向上に向けた補助の在り方について、市の見解を伺います。

② 主権者教育の推進と「こども議会」等、子どもたちの政治参加について

主権者教育の充実に加え、市民の政治参加を促進し、子どもたちの意見を市政に反映させる仕組みを構築することが重要ではないでしょうか。特に、子ども施策をはじめとする政策決定の過程において、当事者である子どもたちの声を聞き、具体的な施策に活かす取り組みが求められます。

その一環として、子ども議会の開催は積極的に進めるべき施策の一つです。

以前の一般質問において、「前向きに検討する」との答弁をいただいておりますが、令和 7 年度に向けて、具体的にどのような方向性で検討を進めているのか、市の考えを伺います。

こども政策を推進するにあたり、何よりも大切にするのは、こどもや若者のみなさんの意見です。

こども家庭庁は、こどもや若者の一人ひとりの意見を聴いて、その声を大切にして、こどもや若者にとって最もよいことは何かを考え、こどもに関する取組・政策を社会のまんやかに据え

る「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こども・若者の声を聴き、反映し、こどもや若者の視点に立った政策を実現するとともに、各府省庁や地方自治体と連携し、こども・若者の意見を聴き政策に反映する取組を社会全体で推進していくと明言しています。

本市の子ども計画策定にも関連があると考えていますので、これまでの子ども・子育て会議についても少し伺います。

一般質問通告書

次の件について、会議規則第63条の規定により一般質問の通告を致します。

令和7年2月13日

質問者

議員 木下 充 啓

香芝市議会議員

中 村 良 路 様

項 目	件 名	答弁者 (部局名)
大項目 中項目 ※箇条書で記入 ください。	1. 学校給食費の無償化について (1) 小中学校給食費の現状 (2) 学校給食費無償化の課題 (3) 学校給食無償化に関する本市の考え方 2. 不登校支援について (1) 本市の不登校児童生徒の現状 (2) 本市の不登校支援の取り組み (3) 進路選択に係る支援の状況 3. 本市の備蓄品の状況について (1) 備蓄品の現状 (2) 災害時応援協定の現状と課題 (3) 今後の備蓄計画と改善策	市長 副市長 教育長 教育部 危機管理監 総務部 その他関係 部局

(要 旨) ※できるだけ具体的に記入願います。

1. 学校給食費の無償化について

近年、少子化対策や子育て支援の一環として、国会においても学校給食費の無償化が議論されています。本市においても、物価高騰の影響を受ける子育て世帯の負担軽減や、教育の機会均等の観点から、学校給食費無償化の実施が求められています。一方で大きな財政負担が生じることなどから、学校給食費の無償化には高いハードルがあると思われます。これらの状況を踏まえ、以下の点について質問します。

(1) 小中学校給食費の現状

- ① 本市における小中学校の給食費の設定額とその根拠について
- ② 給食費の未納状況やその対応について

(2) 学校給食費無償化の課題

- ① 本市における給食費無償化の実施に向けた検討状況について
- ② 無償化を実施した場合の財政負担額の試算について
- ③ 他自治体での無償化の事例と本市への適用可能性について
- ④ 学校給食費の無償化を実施するとした場合の財源確保の方法について
- ⑤ 国や県からの補助制度の活用について

⑥ 給食の質を維持するための方策について

(3) 学校給食無償化に関する本市の考え方

- ① 上記の状況を踏まえた本市の無償化についての考え方について
- ② 低所得世帯に対する無償化以外の支援策について

2. 不登校支援について

令和 6 年 12 月議会で質問した本市の不登校の問題と取り組みについて改めて質問します。

(1) 本市の不登校児童生徒の現状

- ① 直近の不登校児童生徒の人数と推移について
- ② 不登校の主な要因分析と対応状況について

(2) 本市の不登校支援の取り組み

- ① 適応指導教室の運営状況と利用状況について
- ② ICT を活用したオンライン学習について

(3) 進路選択に係る支援の状況

- ① 高校進学や就職支援に関する施策について
- ② 課題と今後の方針について

3. 本市の備蓄品の状況について

近年、地震や豪雨、台風などの災害が激甚化しており、各自治体では市民の生命と安全を守るための備蓄品の充実が求められています。令和 7 年 1 月に内閣府が備蓄品に関する調査結果を公表し、自治体の備蓄品に関する現状が明らかになりました。本市における備蓄品の現状と課題を確認し、今後の備蓄計画の充実について検討するため、以下の点について質問します。

(1) 備蓄品の現状

- ① 備蓄品の種類と数量について
- ② 保管場所の確保と管理体制について
- ③ 消費期限切れ備蓄品の処分方法と有効活用について
- ④ 特殊なニーズ（アレルギー対応食品、乳幼児・高齢者向け備蓄品等）への対応について
- ⑤ 国や県の補助金・助成金の活用状況について

(2) 災害時応援協定の現状と課題

- ① 民間企業等との連携による災害時応援協定の状況について
- ② 災害時応援協定の課題について

(3) 今後の備蓄計画と改善策

- ① 備蓄品の定期的な見直しと更新計画について
- ② デジタル技術を活用した備蓄品の在庫管理の導入について
- ③ 他自治体の先進的な取り組みを参考にした改善策について

一 般 質 問 通 告 書

次の件について、会議規則第63条の規定により一般質問の通告を致します。

令和 7 年 2 月 13 日

質 問 者

議 員 野 口 昌 史

香芝市議会議長

中 村 良 路 様

項 目	件 名	答弁者 (部局名)
大項目 中項目 ※箇条書で記入 ください。	1, 第 5 次香芝市総合計画における人口ビジョンについて (1) 前期基本計画での人口ビジョンについて (2) 今後の人口ビジョンや取り組みについて (3) 本件に関しての市長の見解	市長 副市長 市長公室 都市創造部 その他 関連部局

(要 旨) ※できるだけ具体的に記入願います。

この国では少子高齢化が大きな社会問題となりしばらく経つが、有効な施策がほとんど行われず、様々な問題に直面している。香芝市においても 2021 年以降は人口微減傾向にあり、他市町村の例からも、一旦減少に転じると、そのスピードは加速的に増えるケースが多く、早めの対策が急務である。

香芝市の在り方を決める根幹である第 5 次香芝市総合計画において、全ての方針のベースとなるのは人口の将来ビジョンである。すなわち、香芝市における人口の将来ビジョンによって、本市の将来像が決定づけられるということである。

人口問題は市の根幹に関わる重要課題であり、現在、前期基本計画の期間が終わり、中期基本計画が本議会に提出されているこのタイミングにおいて、以下の質問を通じて具体的な施策の展開につながることを期待し、人口ビジョンについての分析状況と将来の見込みについて伺う。

(1)前期基本計画での人口ビジョンについて

前期基本計画の期間が終了した現在、当時の見込みと現状を比較することは、次の計画を立てる上で非常に重要なプロセスであるので、それに関して詳しく伺う。

- ① 現行の前期基本計画における人口ビジョンについて
- ② 前期計画が終了し、その結果について
- ③ その結果を踏まえた人口動向をどのように捉えているのか
- ④ 若者の転出超過が大きい現状、何らかの対策は検討されているのか

- ⑤ 人口ビジョン達成のため、人口減少を食い止めることにつながる施策はどのようなことが行われてきかのか
- ⑥ 昼夜間人口比率、市内就業率ともに県内下位であるが、雇用創出についてどのような施策が検討されているのか
- ⑦ 世帯数は増加傾向にある一方、人口が減少に転じていることに関する見解は

(2) 今後のビジョンや取り組みについて

前期基本計画の結果分析等を踏まえた上で、中期基本計画以降にその内容が反映されるものと考えているが、今後のビジョンに関して詳しく伺う。

- ⑧ これまでのことを踏まえ、今後どのような人口ビジョンを考えているのか
- ⑨ そのビジョン達成のためにどのようなことを推進していくのか
- ⑩ 関連したハード整備や公共交通について、具体的な計画・予定について

(3) 本件に関する市長の見解

香芝市の人口ビジョンは社人研準拠推計を基に作成されておりますが、市長が以前にされた「大変難しいかもしれないが、もし可能性があるのなら人口増にもっていきたい」との内容の発言は私も大いに賛同できるものであります。そこで、

- ⑪ 以上のことについての市長の見解と、市長が掲げられた人口増加へのビジョンについて、その実現可能性と具体的な道筋、そして実現に向けて特に注力されたい施策についてお考えを伺います。